

目 次

I. 総括研究報告	
がん相談支援の質の確保及び持続可能な体制の構築に資する研究 高山 智子	1
II. 分担研究報告	
1. 相談員の研修目標達成度評価の導入と 個々の相談支援者の育成方策・実施可能性の検証	10
1) がん専門相談員向けの研修「国立がん研究センター基礎研修（3）」と「外部組織 実施研修」の研修効果の定量的評価に関する研究 八巻知香子、小郷祐子、高橋朋子、櫻井雅代、齋藤弓子、壇谷ひとみ	10
2. 相談/対応内容の可視化と継続教育への教育還元方法の検討	27
1) がん専門相談員の知識とスキルの可視化と達成度確認ツールの開発 高山智子、近藤まゆみ、福地智巴、酒見惇子、櫻井雅代	27
2) 相談記入シートを用いた相談/対応内容の把握・可視化と（教育等への）還元 齋藤弓子、八巻知香子、高山智子	40
3) LLM ファインチューニングを用いた相談対応支援ツールの開発 内村祐之	43
4) がん相談支援センター生成 AI の適切な活用法の検討 東尚弘、俵司	46
3. 拠点病院内の持続可能な相談対応モデルの検討と実装可能性の検証と周知	49
1) 大学病院におけるがん相談支援センターの周知度向上への継続した取り組みに関 する研究 櫻井裕幸、吉田優子、野村浩明	49
2) 総合病院における持続可能な相談対応方法や体制に関する研究 進士明宏、橋爪睦	51
3) がん専門病院としての持続可能な相談対応方法や体制に関わる検討 森田勝、小野菊世、北川善子	53
4) がん相談支援センターオンライン講演会の開催： がん相談支援センターに求められる役割と機能「オンライン講演会による持続可 能な情報共有の取り組みに関する検討」 高山智子	56
III. 研究成果の刊行に関する一覧	62
別紙 4	62